

# 「森の中での木のおもちゃ作り」

岐阜県立森林文化アカデミー 木工専攻 講師 ● 前野 健

「木のおもちゃを作ってみませんか？」

こんな質問を投げかけられて、すぐに頭の中でモノ作りをしている自分をイメージできる人はどれくらいいるでしょうか？

木でなにかを作るなんて、モノ作りを仕事にしている職人さん。もしくは、手先の器用な趣味人の方や、肥後守(ひごのかみ)世代の先輩方など、ごく限られた人たちだからできること。もしくは工作用の機械や工房があって初めてできること。そんな風に思いませんか？

最近、私が始めた活動に「ナイフカフェ」というイベントがあります。これは一般の方(幼児から大人まで)に刃物やモノ作りに親しんでもらうための活動です。

森の中から少し小枝を分けてもらって(中には小枝というには太い物も混じりますが)、小さなサコッシュから取り出した「折りたたみノコギリ」「手回しドリル」「ポケットナイフ」



ノコギリ、ナイフ、ドリル。クサビやマレットは手作り。

フ」でおもちゃや遊びの道具を作りま  
す。3つも道具を持ち歩くなんて嫌  
だよーという人には、スイスのアー  
ミーナイフで知られているビクトリ  
ノックスの「キャンパー」や「ハントマ  
ン」といったノコギリ付きのナイフが  
おススメです。これ1本あれば、色々  
なモノ作り遊びが楽しめます。

作るモノは、木のクルマや動物  
といったおもちゃから、野外遊びの  
焚き火まわりで使えるマシュマロや  
ソーセージを焼くためのフォークな  
んかも作ったりします。子ども達か  
らのオーダーでは「剣を作りたい!」  
というのが定番であります。これ  
は作ってから、ケンカに使って、大  
人に没収されるまでがひどくくりの  
パターンなので、けっこう格好良い  
モノが作れるのですが、最近はある  
まりやらないようにしています。

これらの手道具と小枝を使った工  
作は、いざ取り組んでみると、とて  
も簡単に作品ができあがることに驚  
きます。実は、木のモノ作りとい  
うのは、たった3つの道具があるだけ  
で、かなり凝ったモノでも作れてし  
まうんです。

そして、このモノ作り遊びのおも  
しろいところは「道具を作る」ところ  
から始まること。枝を割るためのク  
サビやクサビをたくマレット(木  
槌)などは、どちらも限りなく「枝」



枝木で作ったクルマと動物

に近い、枝をちよつと切って削った  
だけの道具ですが、こういう原始的  
な道具を使ってみると「モノ作りの原  
点」立っている気がしてきて、それも  
楽しくなっています。

子ども達が手に取って遊ぶおも  
ちゃには、とてもよく考えられてい  
て、デザインもキレイでカッコいい  
モノがたくさんあります。でも、親  
が森に行つて自分で作ったモノを子  
どもの手に触れさせたり、子どもが  
自らの手で作ったモノで遊ぶ経験も  
大切だと考えます。

こうして作った木のおもちゃは、  
もしかしたら簡単に壊れてしまうか  
もしれませんが、それも含めて良い  
経験だと思えます。モノにあふれた  
時代だからこそ、自分の手で作り、  
壊すところまで、存分に体験するこ  
とがゼイタクだと思えます。